

富山高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	環日本海諸国語表現Ⅱ(ロシア語)	
科目基礎情報							
科目番号	0120			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	Поехали 2-2, 配付資料						
担当教員	宮崎 衣澄						
到達目標							
基礎文法を定着させ、ロシア語で読む、聞く、話す、書く能力を養成する。 ロシア語能力検定3級程度のロシア語運用能力を身に着ける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	既習の文法事項を理解し、正しく運用することができる。			既習の文法事項を理解し、およそ正しく運用することができる。		既習の文法事項を理解せず、運用することができない。	
評価項目2	辞書を使用せずに、日本語を平易なロシア語に訳することができる。			辞書を使用せずに、日本語をおおよそ平易なロシア語に訳することができる。		辞書を使用せずに、日本語をロシア語に訳することができない。	
評価項目3	辞書を使用せずに、教科書程度のロシア語を読むことができる。			辞書を使用せずに、教科書程度のロシア語をおおよそ読むことができる。		辞書を使用せずに、教科書程度のロシア語を読むことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1							
教育方法等							
概要	1. 学生はロシア語基礎文法を理解する。 2. 学生はロシア語で平易な文章を読む、話す、聞く、書くことができる。 3. 学生はA2レベル (CEFR) のロシア語運用能力を身につける。						
授業の進め方・方法	教員単独。講義及び演習。						
注意点	評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受験することができる。追認試験の結果、単位の修得が認められたものにあつては、その評価を60点とする。評価方法及び評価基準は本試験と同じとする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	副動詞 урок26		不完了体副動詞の用法を理解する		
		2週	副動詞 урок26		完了体副動詞の用法を理解する		
		3週	副動詞		副動詞の用法を理解する		
		4週	まとめ		既習事項が理解できている		
		5週	能動形動詞現在 урок25		能動形動詞の用法を理解する		
		6週	能動形動詞過去 урок25		能動形動詞の用法を理解する		
		7週	中間試験		既習の学習事項が理解できているか確認する		
		8週	被動形動詞現在 урок24		被動形動詞の用法を理解する		
	4thQ	9週	被動形動詞過去 урок24		被動形動詞の用法を理解する		
		10週	復習		被動形動詞の用法を理解し、使うことが出来る		
		11週	被動形動詞過去短語尾 урок22		被動形動詞短語尾の用法を理解する		
		12週	受動態 урок22		受動態の用法を理解する		
		13週	受動態 урок22		受動態の用法を理解する		
		14週	総復習		既習の学習事項の復習と定着をはかる		
		15週	期末試験		既習の学習事項が理解できているか確認する		
		16週	成績確認		成績確認を行う		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	25	0	0	0	0	10	35
専門的能力	25	0	0	0	0	10	35

分野横断的能力	20	0	0	0	0	10	30
---------	----	---	---	---	---	----	----